

模様を造るから
模様

Takayama Museum of History and Art
Summer Exhibition 2018
TOMIMOTO Kenkichi Retrospective



富本憲吉 作

染付「竹林月夜」模様皿(安堵町蔵)

期間◆平成30年

7.18[水]～8.19[日]

場所◆飛騨高山まちの博物館
特別展示室
主催◆高山市教育委員会 協力◆安堵町

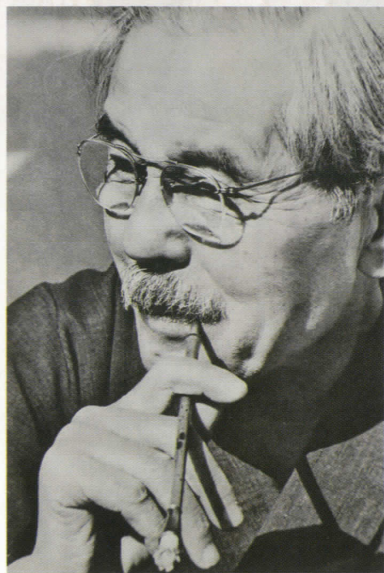
～ふるさと安堵町と高山疎開～

人間国宝・富本憲吉の陶芸

飛騨高山まちの体験交流館開館記念 飛騨高山まちの博物館平成30年度夏季特別展

1. 富本憲吉とふるさと安堵町

富本憲吉を生んだふるさと安堵町の風景写真や、富本の模様を使用した作品(安堵町蔵)など29点を展示



土門拳撮影 富本憲吉肖像
(「富本憲吉陶芸作品集」より引用)

2. 人間国宝・富本憲吉の陶芸

人間国宝の技と美が光る富本憲吉の作品(安堵町蔵、個人蔵)11点を展示



色絵香爐(個人蔵)

Takayama Museum of History and Art Summer Exhibition 2018 TOMIMOTO Kenkichi Retrospective

奈良県安堵町出身の陶芸家・富本憲吉(1886~1963)は、「模様から模様を造るべからず」を終生の信条に、白磁・染付・色絵と常に独創的な意匠と造形を追及し、晩年には色絵磁器に金銀彩を加えた華麗な作風を大成しました。昭和19年(1944)には、母校である東京美術学校(東京芸術大学美術学部的前身)の教授に就任し、同校内にあった工芸技術講習所の主事を兼任。第二次世界大戦の激化にともない、学生たちと飛騨高山に疎開して洪草焼の窯で作陶を行っています。昭和30年(1955)には、重要無形文化財保持者(いわゆる「人間国宝」)の第1号に認定されました。ふるさと安堵町の風景を描いた「竹林月夜」や、安堵町の花「ティカカズラ」を图案化した「四弁花」など、自然観察のなかから生まれた富本の代表的な模様が描かれた作品を安堵町からお借りし、展示します。あわせて、高山疎開時代の工芸技術講習所の活動の様子を示す資料もご紹介します。

3. 富本憲吉の高山疎開

戦時中に工芸技術講習所の教官や学生によって高山で制作された作品(洪草焼芳国舎蔵)など30点を展示



藤本能道作 木立文様壺
(洪草焼芳国舎蔵)

人間国宝・富本憲吉の陶芸

ふるさと安堵町と高山疎開

飛騨高山まちの体験交流館開館記念

飛騨高山まちの博物館平成30年度夏季特別展

関連事業

〈記念講座〉

失われし屋台の面影 ● 玉腰雅美

富本憲吉と高山での工芸技術教室 ● 田中 彰

日時 ● 平成30年 8月7日(火) 19:00~21:00

場所 ● 飛騨高山まちの博物館 研修室

予約不要、参加費無料

飛騨高山まちの博物館

〒506-0844 岐阜県高山市上一之町75

TEL.0577-32-1205 FAX.0577-35-1970

開館時間 ▶ 9:00 ~ 19:00 休館日 ▶ 無休(特別展期間中) 入館料 ▶ 無料

駐車場 ▶ 市営空町駐車場(高山市民2時間無料)や、

近隣の有料駐車場をご利用ください(正門前に障がい者用駐車場あり)



JR高山駅より徒歩15分